

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	山手ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人愛光学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	経済経営学科	夜・通信	280	160	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://aiko.ac.jp/data/">https://aiko.ac.jp/data/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	山手ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人愛光学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://aiko.ac.jp/data/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	無し	2020.1.4～ 2024.1.4	教学に係る アドバイザー
非常勤	民間企業会社員	2020.7.1～ 2024.1.4	法人財務の チェック機能
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	山手ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人愛光学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>経済経営系科目、IT 情報科目、語学英語科目、語学日本語科目において毎年度 12 月、当該年度における授業の方法、進捗状況、目標到達度、成績評価の方法や基準、反省点、意見等を構成委員会にてとりまとめる。</p> <p>各科目担当教員が当校教育目標を踏まえた授業内容、教材、授業目的、到達目標、授業スケジュール等を踏まえた授業計画書(シラバス)を作成。</p> <p>作成された授業計画書(シラバス)を 3 月末日までにホームページで公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://aiko.ac.jp/data/">https://aiko.ac.jp/data/</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>&lt;成績評価の方法・基準&gt;</p> <p>成績評価の方法は、各期末試験を 100 点満点で採点し平均する。80 点以上=A、70 点以上 80 点未満=B、60 点以上 70 点未満=C、60 点未満=D の 4 段階で評価を行う。追試験は 1 回実施し 80 点満点で採点する。再試験は 3 回未満実施し 60 点満点で採点する。ただし、出席時数が授業時数の 3 分の 2 に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。A・B・C の評価を得た科目に単位を認定する。</p> <p>&lt;履修の認定&gt;</p> <p>各年度後期試験の終了後、校長が課程修了の認定を行い、成績通知書にて学生個人に通知する。</p> <p>&lt;成績評価の方法・基準等の周知&gt;</p> <p>成績評価の方法・基準等は、授業計画書(シラバス)に記載するとともに、学校ホームページで公開する。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p><b>【指標の算出方法】</b></p> <p>①成績評価の方法は、各期末試験を100点満点で採点し平均する。80点以上=A、70点以上80点未満=B、60点以上70点未満=C、60点未満=Dの4段階で評価を行う。追試験は1回実施し80点満点で採点する。再試験は3回未満実施し60点満点で採点する。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。A・B・Cの評価を得た科目に単位を認定する。</p> <p><b>【成績の分布を表す資料の公表】</b></p> <p>①各学期終了後、迅速にホームページで公表する。</p> <p>②下位4分の1が全体のどの範囲であって、何名が該当するのかも公表する。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://aiko.ac.jp/data/">https://aiko.ac.jp/data/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業に認定については、学則第10条(成績評価)「授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。但し、出席時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。」及び第20条(課程修了の認定)「第10条に定める授業科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了認定を行う。2 所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認められるものには、卒業証書を授与する。」に基づき行う。</p> <p>専門的技術や技能を養い取得し、多国籍の仲間と触れ合いながら広い視野、洞察力、コミュニケーション能力を高め、国際化や情報化が進展する日本や世界で貢献し、活躍する人材を育成することを教育理念としている。</p> <p>科目の評価と併せて以下の点が習得されることも考慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション能力や異文化に対する理解</li> <li>・豊かな感性とグローバルな視野</li> <li>・企業が求める技術的要求に応えられる、高い技術と技能、資格の取得</li> <li>・課題発見と解決能力</li> <li>・チームワークとリーダーシップ</li> <li>・公共性と倫理観</li> </ul> <p>上記に基づき、卒業年次の後期期末試験終了後、卒業判定会議により卒業の認定を行う。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p><a href="https://aiko.ac.jp/data/">https://aiko.ac.jp/data/</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	山手ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人愛光学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://aiko.ac.jp/data/">https://aiko.ac.jp/data/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://aiko.ac.jp/data/">https://aiko.ac.jp/data/</a>
財産目録	<a href="https://aiko.ac.jp/data/">https://aiko.ac.jp/data/</a>
事業報告書	<a href="https://aiko.ac.jp/data/">https://aiko.ac.jp/data/</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://aiko.ac.jp/data/">https://aiko.ac.jp/data/</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務関係		商業実務専門課程	経済経営学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,725 単位時間/単位	700 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	175 単位時間 /単位
			875 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
226 人		102 人	102 人	5 人	15 人	20 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 経済経営系科目、IT情報科目、語学英語科目、語学日本語科目において毎年度12月、当該年度における授業の方法、進捗状況、目標到達度、成績評価の方法や基準、反省点、意見等を構成委員会にてとりまとめる。 各科目担当教員が授業概要、教材、授業目的、到達目標、授業スケジュール等を踏まえた授業計画書（シラバス）を2月末まで作成。 作成された授業計画書（シラバス）を3月末日までにホームページで公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） ＜成績評価の方法・基準＞ 成績評価の方法は、各期末試験を100点満点で採点し平均する。80点以上=A、70点以上80点未満=B、60点以上70点未満=C、60点未満=Dの4段階で評価を行う。追試験は1回実施し80点満点で採点する。再試験は3回未満実施し60点満点で採点する。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。A・B・Cの評価を得た科目に単位を認定する。 ＜履修の認定＞ 各年度後期試験の終了後、校長が課程修了の認定を行い、成績通知書にて学生個

<p>人に通知する。          &lt;成績評価の方法・基準等の周知&gt;          成績評価の方法・基準等は、授業計画書（シラバス）に記載するとともに、学校ホームページで公開する。</p>
<p>卒業・進級の認定基準          （概要）          卒業に認定については、学則第10条（成績評価）「授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。但し、出席時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。」及び第20条（課程修了の認定）「第10条に定める授業科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了認定を行う。2 所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認められるものには、卒業証書を授与する。」に基づき行う。          専門的技術や技能を養い取得し、多国籍の仲間と触れ合いながら広い視野、洞察力、コミュニケーション能力を高め、国際化や情報化が進展する日本や世界で貢献し、活躍する人材を育成することを教育理念としている。          科目の評価と併せて以下の点が習得されることも考慮する。          ・コミュニケーション能力や異文化に対する理解          ・豊かな感性とグローバルな視野          ・企業が求める技術的要求に応えられる、高い技術と技能、資格の取得          ・課題発見と解決能力          ・チームワークとリーダーシップ          ・公共性と倫理観          上記に基づき、卒業年次の後期期末試験終了後、卒業判定会議により卒業の認定を行う。</p>
<p>学修支援等          （概要）          ①スチューデントセンターによる学生フォロー          学生が悩み（人間関係、授業の理解、出席率、学納金、生活費、家庭環境、精神面など）を打ち明けられる場所として設置。学生生活を継続できるよう、寄り添える対応を実施。対面形式を苦手とする学生も想定し、メール相談も可能な整備を進める。          ②補講授業の実施          学生が欠席した授業や復習を求める授業について、長期休暇期間を利用した補講授業を実施。放課後の補講も可能な範囲で随時対応し、学生が授業を欠席したことによる授業への不安などを募らせないようにフォロー。          ③アルバイトや住居（一人暮らし）、奨学金や支援金などについて、学生から希望があった際に事務局にて案内。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)

(主な就職、業界等)
(就職指導内容)
(主な学修成果 (資格・検定等) )
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
56人	6人	10.7%
(中途退学の主な理由) コロナ禍による経済的困難、大学への転学、就職		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生面談を頻回実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
経済経営学科 (2年制)	100,000 円	550,000 円	213,000 円	施設費、教材費、維持費
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://aiko.ac.jp/data/">https://aiko.ac.jp/data/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価委員会を組織。 委員として、学校の専門分野における業界関係者 (就職先企業等)、卒業生、保護者、地域住民、中学校・高等学校等の校長や進路指導担当者等、学校運営に関する専門家、地域の地方公共団体等の関係者などから、3名以上を選任して組織。 各種資料の検証や学校の諸活動の観察等を通じて、学校が行った自己評価 (『専修学校における学校評価ガイドライン (文部科学省障害学修政策局:平成25年3月)』に基づく) の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価する。 自己評価の評価結果の客観性・透明性を高め、本校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。その他、教育活動、学校運営等に係る課題を共有し、今後の方向性等に対する助言等を求める。 学校関係者委員会は、評価内容や改善方策等を取りまとめ、本校ホームページで公表するとともに、自己評価委員会で改善方策の検討において活用し、次年度の重点目標の設定や具体的取組の改善を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社山手学院	令和3年3月31日～ 令和5年3月31日	関連業界関係者
有限会社ワイ・イー・エス・エス	令和3年3月31日～ 令和5年3月31日	その他校長が必要と認める者
合同会社 SUN SHINE	令和3年3月31日～ 令和5年3月31日	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		



(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://aiko.ac.jp/data/">https://aiko.ac.jp/data/</a>
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://aiko.ac.jp/data/">https://aiko.ac.jp/data/</a>
--